



社内ディレクトリとパーソナルディレクトリのセットアップ

- [パーソナルディレクトリのセットアップ, 1 ページ](#)
- [LDAP 設定, 2 ページ](#)
- [BroadSoft 設定の構成, 3 ページ](#)
- [XML ディレクトリ サービスの設定, 4 ページ](#)

パーソナルディレクトリのセットアップ

パーソナルディレクトリには、ユーザが一連の個人の番号を保存できます。

パーソナルディレクトリは、次の機能で構成されています。

- 個人アドレス帳 (PAB)

ユーザはこれらの方法を使用してパーソナルディレクトリの機能を利用できます。

- **Web ブラウザから**：ユーザは、設定ユーティリティの Web ページから PAB やスピードダイヤル機能にアクセスできます。
- **Cisco IP Phone から**：連絡先を選択して、社内ディレクトリやユーザのパーソナルディレクトリを検索できます。

パーソナルディレクトリを Web ブラウザから設定するには、ユーザが設定ユーティリティにアクセスする必要があります。管理者は、ユーザに対して URL とサインイン情報を提供する必要があります。

LDAP 設定

Cisco IP Phone は、Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) v3 をサポートします。LDAP 社内ディレクトリ検索を使用すれば、指定した LDAP ディレクトリで名前と電話番号のどちらかまたはその両方を検索することができます。Microsoft Active Directory 2003 や OpenLDAP ベースのデータベースなどの LDAP ベースのディレクトリがサポートされます。

ユーザは、IP 電話の [ディレクトリ (Directory)] メニューから LDAP にアクセスします。LDAP 検索は最大 20 件のレコードを返します。

この項の手順では、次の設備とサービスを使用していることを前提とします。

- OpenLDAP や Microsoft Active Directory Server 2003 などの LDAP サーバ。

LDAP 社内ディレクトリ検索の準備

手順

-
- ステップ 1** [管理者ログイン (Admin Login)] > [詳細 (advanced)] > [音声 (Voice)] > [システム (System)] をクリックします。
- ステップ 2** [IPv4 設定 (IPv4 Settings)] セクションの [プライマリ DNS (Primary DNS)] フィールドに、DNS サーバの IP アドレスを入力します。
この手順は、認証が MD5 に設定された Active Directory を使用している場合にのみ必要です。
- ステップ 3** [オプション ネットワーク設定 (Optional Network Configuration)] セクションの [ドメイン (Domain)] フィールドに、LDAP ドメインを入力します。
この手順は、認証が MD5 に設定された Active Directory を使用している場合にのみ必要です。
サイトによっては、DNS を内部的に導入しない代わりに Active Directory 2003 を使用している場合があります。この場合は、プライマリ DNS アドレスと LDAP ドメインを入力する必要がありません。ただし、Active Directory 2003 では、認証方式が Simple に制限されます。
- ステップ 4** [電話機 (Phone)] タブをクリックします。
- ステップ 5** [LDAP] セクションで、[LDAP ディレクトリ有効 (LDAP Dir Enable)] ドロップダウンリストボックスを使用して [はい (Yes)] を選択します。
このアクションにより、LDAP が有効にされ、[社内ディレクトリ名 (Corp Dir Name)] フィールドで定義された名前が電話帳に表示されます。
- ステップ 6** LDAP フィールドを設定します。参照 [LDAP](#)
- ステップ 7** [すべての変更を送信 (Submit All Changes)] をクリックします。
-

BroadSoft 設定の構成

BroadSoft ディレクトリ サービスを使用すれば、個人、グループ、または会社の連絡先を検索して表示することができます。このアプリケーション機能は、BroadSoft の Extended Services Interface (XSI) を使用します。

セキュリティを強化するために、電話機のファームウェアがホストサーバとディレクトリ名の入力フィールドにアクセス制限をかけます。

次の表で、BroadSoft 設定に適用されるアクセス制限について説明します。

フィールド	アクセス制限
ディレクトリ名 (Directory Name)	管理者パスワードが必須 (設定されている場合)
XSI ホストサーバ (XSI Host Server)	管理者パスワードが必須 (設定されている場合)
ディレクトリタイプ (Directory Type)	企業/グループ/個人 (Enterprise/Group/Personal)
ディレクトリ ユーザ ID (Directory User ID)	なし
ディレクトリ パスワード (Directory Password)	なし

手順

- ステップ 1 [管理者ログイン (Admin Login)] > [詳細 (advanced)] > [音声 (Voice)] > [電話機 (Phone)] の順にクリックします。
- ステップ 2 [Broadsoft 設定 (Broadsoft Settings)] セクションで、[ディレクトリ有効 (Directory Enable)] ドロップダウンリストボックスから [はい (Yes)] を選択します。
- ステップ 3 [XSI ホストサーバ (XSI Host Server)] フィールドに、サーバの名前を入力します。
- ステップ 4 [ディレクトリ名 (Directory Name)] フィールドに、ディレクトリの名前を入力します。
- ステップ 5 [ディレクトリタイプ (Directory Type)] フィールドで、ドロップダウンリストから BroadSoft ディレクトリのタイプを選択します。
- ステップ 6 [ディレクトリ ユーザ ID (Directory User ID)] フィールドに、電話機ユーザの BroadSoft ユーザ ID を入力します。
- ステップ 7 [ディレクトリ パスワード (Directory Password)] フィールドに、パスワードを入力します。
- ステップ 8 [すべての変更を送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

XML ディレクトリ サービスの設定

手順

-
- ステップ 1 [設定ユーティリティ (Configuration Utility)] ページで、[管理者ログイン (Admin Login)] > [詳細 (advanced)] > [音声 (Voice)] > [電話機 (Phone)] の順にクリックします。
 - ステップ 2 [XML ディレクトリ サービス名 (XML Directory Service Name)] フィールドに、XML ディレクトリの名前を入力します。
 - ステップ 3 [XML ディレクトリ サービス URL (XML Directory Service URL)] フィールドに、XML ディレクトリが配置されている URL を入力します。
 - ステップ 4 [XML ユーザ名 (XML User Name)] フィールドに、XML サービスのユーザ名を入力します。
 - ステップ 5 [XML パスワード (XML Password)] フィールドに、XML サービスのパスワードを入力します。
 - ステップ 6 [すべての変更を送信 (Submit All Changes)] をクリックします。
-